

令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立不動寺小学校

①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施） （％）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	61.9	28.6	4.8	4.8	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	71.4	19.0	9.5	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
問4	英語の授業がわかる。	61.9	33.3	4.8	0.0	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	23.8	52.4	19.0	0.0	4.8
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	23.8	57.1	14.3	0.0	4.8
問7	アルファベットの大文字が書ける。	71.4	19.0	4.8	0.0	4.8
問8	アルファベットの小文字が書ける。	47.6	38.1	9.5	0.0	4.8
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	47.6	23.8	14.3	9.5	4.8
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	19.0	38.1	19.0	19.0	4.8

②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・クラスルームイングリッシュの数を学年に応じてできるだけ増やし、定着を図る。
- ・英単語だけでなく、会話の中で知っている単語を聞き取る経験・練習をさせる。
- ・文字と音をつなげて読む活動を多く取り入れる。

③学校関係者評価

- ・英語の勉強が好きだ、大切だと回答した児童が9割と高い。英語を使う必要性をさらに高め、外国の方との交流を増やしたり、授業の場面設定を工夫したりするとよい。
- ・英語で質問をしたり、答えたりすることの肯定的な回答の割合は高い。児童が自信を持って発言できるよう、間違いを恐れずに話す機会を設けるとよい。
- ・文を目で見て声に出す、書き写すことに困難さを感じている児童が全体の2～3割いる。普段から文字を示して音読練習をしたり、文字から音を連想させたり（フォニックス）する活動を取り入れていくとよい。